

混合系加硫促進剤について(4)

混合系加硫促進剤ノクセラー Mix No. 1・ノクセラー Mix No. 2・ノクセラー Mix No. 3 および比較試料 A, B, C のムーニスコーチ試験に続き、今回はこれらの混合系加硫促進剤の天然ゴム炭カル配合による加硫試験の結果を報告致します。

(試験条件)

加硫温度 140°C

引張試験は JIS K6301-1962 に準じた。

天然ゴム炭カル配合における加硫試験の結果は図4に示すとおりである。試料の違いによる加硫速度の差はムーニスコーチ試験の結果ほど明瞭ではなく、むしろ配合量の変化による差の方が大きいことが認められる。加硫物の引張性質はノクセラー H を含むノクセラー Mix No. 1・ノクセラー Mix No. 2・ノクセラー Mix No. 3 のグループとノクセラー D を含む試料 A・試料 B・試料 C のグループに大別され、一般にノクセラー H を含むグループの方が伸びが大きく、硬さ、引張応力は小さい傾向にある。また試料の配合量が増加すると伸びが減少し、硬さ、引張応力が増加する傾向を示している。同時に最適加硫時間も早くなっている。

実験データ

供試試料

- | | |
|---------------------|----------|
| (1) ノクセラー Mix No. 1 | (4) 試料 A |
| (2) ノクセラー Mix No. 2 | (5) 試料 B |
| (3) ノクセラー Mix No. 3 | (6) 試料 C |

実験4 天然ゴム炭カル配合による加硫試験

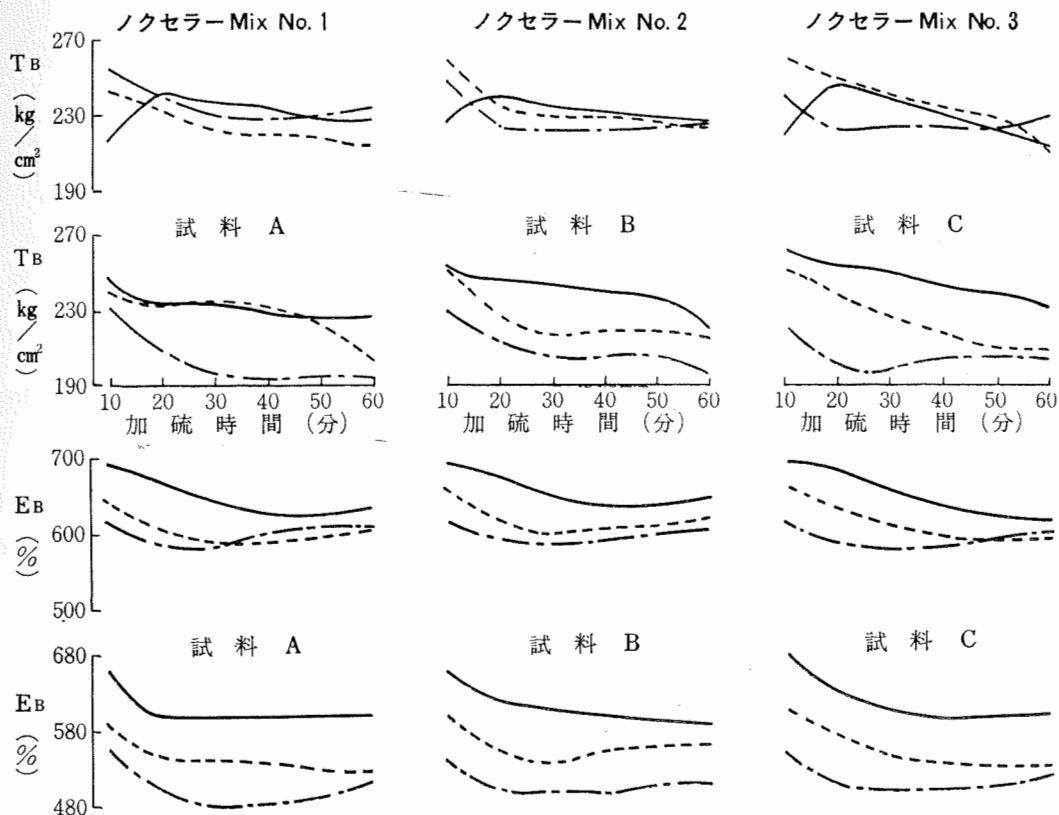
(配合) 実験2の(配合)と同じ;

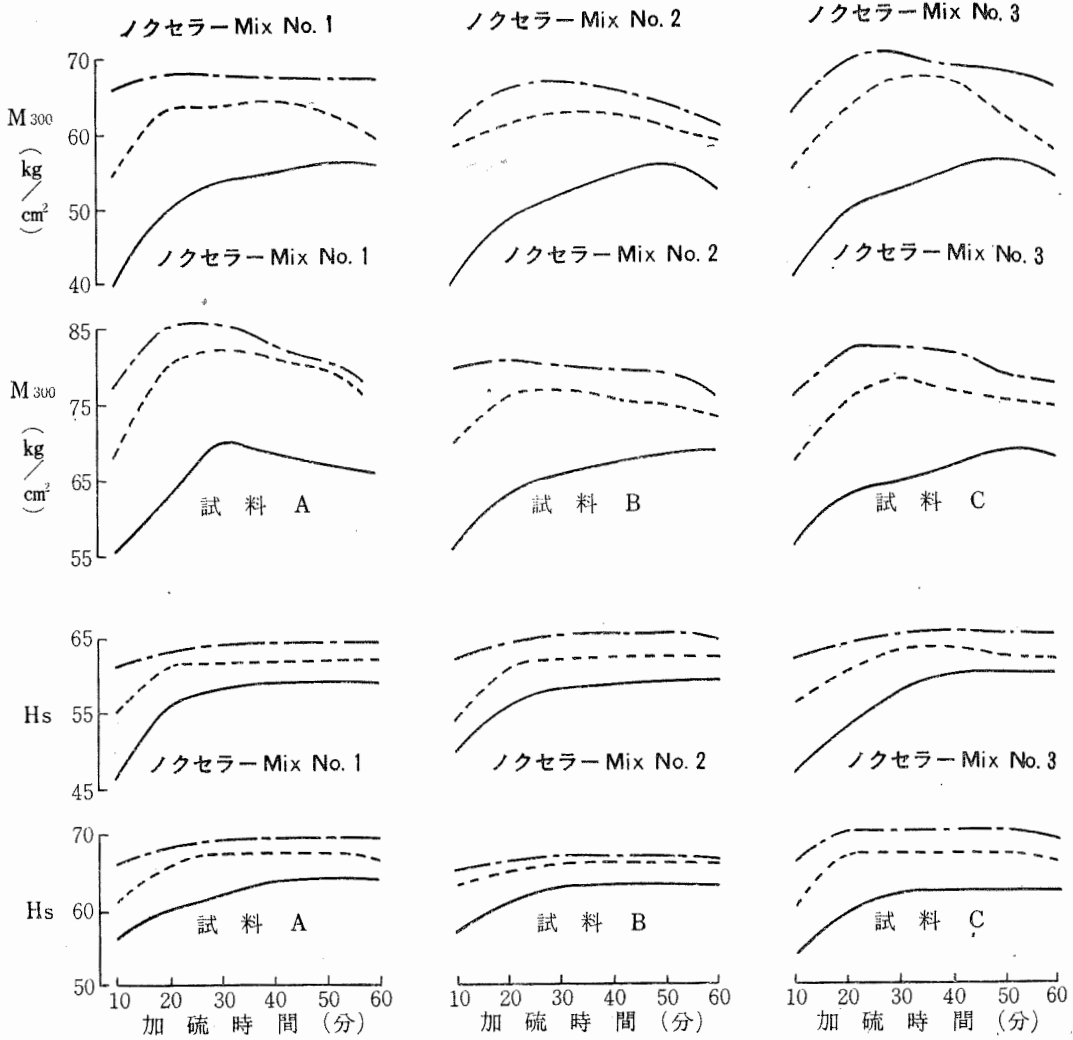
スモークドシート #1	100
亜鉛華	5
ステアリン酸	2
イオウ	3
白艶華 CC	35
軽質炭酸カルシウム	25
炭酸マグネシウム	15
試料(促進剤)	0.6, 0.9, 1.2

(加硫試験結果)

—— 試料 0.6phr 配合
 - - - 試料 0.9phr 配合
 - · - · 試料 1.2phr 配合

図4. 加硫曲線





大内新興化学工業株式会社

昭和40年4月5日印刷		昭和40年4月15日発行		定価 350円	
編集兼発行人	東京都港区芝新橋6の12	古	山	力	
印刷所	東京都新宿区天神町78	小宮山印刷工業株式会社			
発行所	東京都港区芝新橋6の12	社団法人 日本ゴム協会			
	電話 (431) 3567 振替東京 48393				
◇					
日本ゴム協会	関東支部	東京都港区芝新橋6の12	TEL	東京	(03)431-3567
	東海支部	名古屋市中村区泥江町2の1	TEL	名古屋	(052) 57-6511
	関西支部	大阪市天王寺区堂ヶ芝町12	TEL	大阪	(06)771-5157
	九州支部	久留米市荘島町102	TEL	久留米	2-5104